

県病床確保計画に基づく入院受入病床について

I 鹿児島県病床確保計画

県は、新型コロナウイルス感染症患者に対する医療の確保を適切に図ることができるよう鹿児島県病床確保計画を策定しています。

1 推計最大入院患者数

261人

※国が示す患者推計の標準的なモデルにより、患者数を推計。

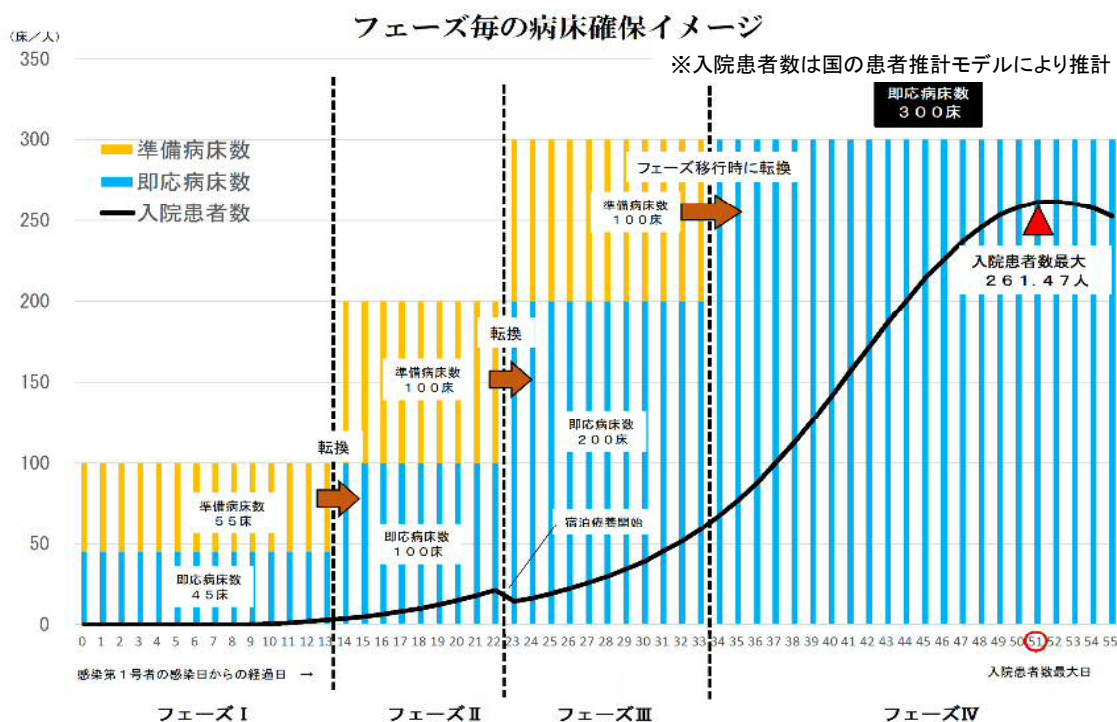
2 計画における確保病床数（目標）

患者推計により4段階のフェーズを設定し、最大300床の病床を確保する。

項目	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	フェーズⅣ
即応病床	45	100	200	300
準備病床	55	100	100	
状態 (フェーズ移行の目安)	平常時	1日あたりの入院患者数が、3人に達した場合	1日あたりの入院患者数が、22人に達した場合	重篤・重症の入院患者数が9人に達した場合、又は1日あたりの療養者総数が、100人に達した場合

備考 1 即応病床…受入要請があれば、即時患者受入を行う病床

2 準備病床…一定の準備期間内に受入を行う病床



II 現在の確保病床数（令和3年3月30日現在）

離島を含めた医療圏ごとの地域バランス等を考慮した上で、県内50医療機関に最大376床を確保しています。

項目	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	フェーズⅣ
即応病床	45	137	237	376
準備病床	92	100	139	
合計	137	237	376	376